令和６年１１月度 理事会議事録

東部金属熱処理工業組合

１．招集年月日　令和６年１１月　５日（火）
２．開 催 日 時　令和６年１１月２６日（火）　１５時００分～１７時１０分
３．開 催 場 所　理事全員の同意により Web 会議システムにより開催
４．理 事 総 数　２３人
５．監 事 総 数　３人
６．出席理事数　１６人（Web 会議システムによる出席１６人）
７．出席監事数　２人（Web 会議システムによる出席　２人）
８．出席理事の氏名

嶋崎 利行、曽根 光彰、南　直樹、玉木 寛之、安室 篤志、田村 大輔、三瓶　啓、上島　健、川崎 一郎、秋山 正稔、山田　毅、横山 聡洋、秦　研二、藤田 亮則、川村 道夫、後藤 章洋

９．出席監事の氏名

熊木　宏、山口 直延

１０．出席組合員の氏名

石井　均

１１．議長の氏名

嶋崎 利行

１２．決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名

該当する理事はいない

１３．議事の経過の要領及びその結果（議案別の議決の結果、可決、否決の別及び賛否の議決権並びに賛成した理事の氏名及び反対した理事の氏名）

定刻に至り、嶋崎理事長から挨拶があった。挨拶の後、理事会開会を宣し、本日の理事会は Web 会議システムを利用して行う旨を述べ、出席者が一堂に会するのと同等に適時・的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認し、ただちに議事に入った。

第１号議案　新規加入組合員について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、１１月１日付と１２月１日付で加入申込みのあった組合員２社について資料に基づき、報告があった。三益工業株式会社については、１０月１０日に玉木副理事長と説明に伺ったことと２０１８年に山田理事の紹介で大屋理事長（当時）と一度説明に伺っていることの報告があった。株式会社イチヤナギについては、浅川熱処理株式会社からのご紹介で、９月９日に横山理事と説明に伺ったことの報告があった。加入の目的は、両社とも技能士の育成のためであることの説明があった。

三益工業株式会社　　加入年月日：令和６年１１月１日
代表取締役社長　中西 忠輔 氏
本　　社：〒１４３-００１４ 東京都大田区大森中 １丁目１７番２３号
TEL：０３－３７６３－０１４１、FAX：０３－３７６８－２０４８

那須工場：〒３２９-３１２２ 栃木県那須塩原市塩野崎２０７番地
TEL：０２８７－６５－３５３１、FAX：０２８７－６５－３５３３
※熱処理は那須工場
資 本 金：3,０００万円、熱処理部門従業員　４名
事業内容：航空宇宙機器・電力発電施設・高速鉄道車両・産業設備部品などの
精密機械加工、真空熱処理、ユニットの組立・整備作業

株式会社イチヤナギ　　加入年月日：令和６年１２月１日
代表取締役社長　一柳 達朗 氏
本　　社：〒３５８-００３２ 埼玉県入間市狭山ケ原１６２
TEL：０４－２９３４－２１１６、FAX：０４―２９３４－２１１９
資 本 金4,５００万円、従業員４２名（熱処理部門８名）
事業内容：スカートナット（ゆるみ防止機能付ナット）、フランジ系ナット、
異形ナット、ナイロンロックナット、溝付ナット、特殊ワッシャー、
特殊形状ボルト、大型ボルト・ナット、鍛造部品素材、ＮＣ加工品

嶋崎議長から、三益工業は、AMATERAS（東京地区の航空宇宙部品製造企業連合）の所属で力のある企業であることの説明があり、AMATERAS メンバーの上島理事から取引があることの報告があった。

嶋崎議長は、組合員の新規加入及び脱退について議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第２号議案　組合員の脱退について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、資料に基づき、組合員企業１社が１２月末で廃業による脱退の申し出があったことの報告があった。昭和４１年に組合の前身の団体から加入されていることと代表取締役の中村氏には、永く理事をお願いしていいたことも報告があった。１２月末で組合員数７９社、賛助会員数４１社、計１２０社になる見込みであることの説明があった。

組 合 員：共栄金属工業株式会社　代表取締役　中村 龍二

嶋崎議長から組合員及び賛助会員の増員への協力要請があった。

嶋崎議長は、組合員及び賛助会員の脱退について議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第３号議案　中間決算について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、資料に基づき、令和６年４月１日から９月３０日までの上期６ケ月間の中間決算について説明があった。

主な内容は下記の通り。

・講習会の受講者が予想より少なかった。初級熱処理塾が８名だったことと特に技能検定試験受験対策講習会の受講者が少なかった。
・技能検定試験の助成金については、東京都職業能力開発協会からの連絡遅れで、１１月中旬に入金（約６５万円）となっている。

・総会の参加者は昨年より多かったが、その分支出も多く出ているため、マイナスになっている。
・決算の見通しとしては、収支が同じかマイナスに転じる可能性があり、新年賀詞交歓会の参加人数の多寡によって変わって来る。

嶋崎議長から、諸物価が上がっているので、新年賀詞交歓会の会費を10%上げたら良いのでないかと述べられ、意見が求められた。

上島理事から、会費を値上げしたことで参加者数が減ったりしないかと心配していると意見があり、嶋崎議長から全くないとは言えないので、大きな値上げもできないと考えていると回答があった。

上島理事から、５月の総会の参加人数について質問があり、安室専務理事から今回は会費参加が７５名でしたので、コロナ前の７０～８０名の参加とあまり変動がないと説明があった。

田村理事から、総会の時は見積書を勘案して会費を２万円にしたと記憶しているが、今回変えなければいけない理由について質問があり、嶋崎議長から少しでもプラスを生んでマイナスに転じないようにしたいと述べられた。

後藤理事から、最終的に決算がどのくらいの見込みなるかによって、会費を値上げするかの議論になると思うと意見があり、嶋崎議長から予算がマイナス化する要因があるのかと質問があり、安室専務理事から組合員及び賛助会員の賦課金がすべて入り、新年賀詞交歓会の参加人数が総会同様になると想定して収支が同じくらいではないかと見込んでいると説明があった。

嶋崎議長から、営利団体ではないので、黒字で積み上げる必要はないが、今まで蓄えてきた資産を温存して行くようにしたいと述べられ、今回は現状の会費で開催することで、全員の了承を得た。

嶋崎議長は、中間決算について議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第４号議案　令和７年新年賀詞交歓会について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、資料に基づき、令和７年１月２４日（金）、東京グランドホテルで開催することと当日のスケジュールについて説明があった。

１１：００～１２：４５　正副理事長会
１３：００～１４：２０　理事会
１４：３０～１５：２０　賛助会員PR会（中外炉工業㈱、㈱不二越）
１５：３０～１６：５０　講演会「製造業におけるDXの取り組み」
　　テラスケープ合同会社　代表　足立 聖昭 氏
１７：００～１９：００　懇親会

続いて講演会講師の足立氏から組合員企業の見学希望の申し出があり、㈱オーネックスと新羽金属工業㈱に受け入れをお願いし、１０月に見学が実施されたことの報告があった。また足立講師から資料作りのためにアンケート（Googleフォーム）実施の依頼があり、開催案内と一緒にご案内することの説明があった。

嶋崎議長は、議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第５議案　令和７年（第９期）東京科学大学製造中核人材育成講座
「金属熱処理スーパーマイスタープログラム」について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、１１月上旬に東京科学大学（旧東京工業大学）と次回の開催について打合せしたことの報告の後、資料に基づき、第９期の募集内容について説明があった。

実施期間：令和７年４月１２日（土）～令和８年９月の土曜日　２４日間
受 講 料：６０５,０００円（税込）　※厚生労働省の「人材開発支援助成金」の対象
募集人員：２０名　※最低１６名集まらないと実施しない。
募集期間：令和６年１２月２３日（月）～令和７年３月１４日（金）

嶋崎議長から、組合の大事にして来た講座なので、受講対象の人材も限られていると思うが、経験が浅くても先行投資として考えていただき、社員の帰属意識も高まり、受講生同士の横の連携も築けるので、受講生の派遣を検討いただきたい旨述べられた。大学側の取りまとめ役も松尾名誉教授～竹山教授～村石教授となり、次回から小林准教授になることの説明があった。

上島理事から、組合員については先行して募集を開始するのかと質問があり、事務局から東京科学大学から正式なパンフレット及び募集要項が届き次第ご案内したいと説明があった。嶋崎議長から、情報だけでも先に案内するように指示があった。

嶋崎議長から、議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第６議案　青年部会の活動状況について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、１１月１１日開催の第２回青年部会について議事録に基づき報告があった。

まず、「組合まつり in TOKYO」（東京都中小企業団体中央会主催、１０月３０日（水）、３１日（木）、東京国際フォーラム］について報告があった。主な内容は、次の通り。

・前回より、来場者数が多く、ブースへの来場者数が２日間で概算２００名以上。
・前回同様に和鋼博物館から模擬刀、玉鋼等、組合員企業から熱処理品のサンプルと映像をお借りした。
・新しい試みとして出前授業で取り上げている「熱処理クイズ」を実施し、粗品をプレゼントした。クイズによって熱処理の説明に誘導できた。次回はもっと違った視点でクイズを「簡単なもの」、もしくは「驚かれるもの」に検討する。
・次回の予定は、令和７年１０月２９日（水）、３０日（木）開催予定。

続いて１２月１１日（水）に東京都立多摩工科高等学校で行う「出前授業」について資料に基づき説明があった。主内容は、次の通り。

・対象が、デュアルシステム科１年生、会場は、「化学実験室」をお借りし、ブンゼンバーナーを利用して実習（ピアノ線の焼入れ、焼戻し）を行う予定。
・校長先生にご挨拶を行う予定
・スライドデータについては、メンバーを総務委員会、技術・品質委合同員会、マーケティング委員会グループに分け、分担して作成した。全部で３１スライド。現在、各スライドのセリフを作成して最終調整中。
※画面共有でスライドを映し、内容の説明を行った後にピアノ線の焼入れ、焼戻しのデモ実習の動画を視聴する。

山田部会長から、初めての「出前授業」なので、上手く行くところと行かないところがあると思うが、一度実施して生徒さんや先生のアンケートを基にさらに改善したいと考えていることと当日の参加については、学校側で何名の受け入れが可能かを確認してから対応したいと考えていると説明があった。

嶋崎議長から、デモを視聴して良い感じで出来ていると意見があり、事故が無いように行って欲しいと述べられた。

嶋崎議長から、議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第７号議案　各委員会等の活動状況について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、１０月１１日開催の第３回 BCP 推進 WG について議事録に基づき、報告があった。「危機管理産業展２０２４」の視察も兼ねて東京ビッグサイトの会議室で開催した。関東経済産業局の高井課長補佐と伊藤係長にオブザーバー出席いただいた。

主な内容としては、①関東経済産業局からの情報提供について（事業継続力強化計画を推進するための提案）、②事業継続計画書の再構築について、③メンバーの事業所、設備等情報収集のアンケートについて、④その他（危機管理産業展を視察しての情報交換、工業会総務委員会での BCP の概要説明の実施について）

玉木副理事長から、危機管理産業展については内閣府主導で毎年開催されているので、来年も関東経済産業局の方をお招きして開催したいと述べられた。関東経済産業局の中でも BCP の認定件数は２０万件を超えているが、連携型の認定が少ないので、減災防災に関する費用の助成関係を増やさないと進んで行かないことを両者で確認したことの報告があった。WG の今後の方向性としては、２０社の得意としている熱処理や設備の明細などのアンケートの実施を予定していることとサブリーダーの異動により不在となっているので、新たに選任を検討していることの報告があった。

川村理事から、各メンバーの設備の明細を調べて、問題があった際に紹介ができるようにするためにも調査が必要ということになった旨、説明があった。

嶋崎議長から、まず WG メンバー２０社で設備について調べて何かあった時に対応できるように広域連携を先行して行い、全体に拡げて行くためにも早急に取組んで欲しいと述べられた。

続いて安室専務理事から、１１月１２日開催の第３回総務委員会について議事録に基づき、報告があった。オブザーバーとしてイントラックスシステムズ㈱伊東社長に参加いただいた。主な内容は、次の通り。

① セミナーの内容について

中小企業基盤整備機構から講師の派遣支援を受け、「炭素税」や「炭素賦課金」に関する内容で講師の北林アドバイザーに講演をいただく。講師からは、５年、１０年先を考えるためのヒントになる内容にしたいと話があった。１２月２３日に再度打合せを行う予定。開催日は、令和７年２月４日（火）午後の２時間程度、大田区産業プラザ PiO でハイブリッド開催を予定している。

② 情報発信について

組合員企業の PR 動画を作成して組合 HP のトップ画面に貼り付けて情報発信を行う。

オブザーバーの伊東社長から、動画で発信するのは良いと専門家の意見をいただいた。

そこで、奥谷副委員長がご自身で活動しているYouTubeチャンネルのスタッフにご協力をいただき、㈱タマネツと㈱上島熱処理工業所のサンプル動画を年度内に作成することになる。その動画を見て今後の展開を検討することになる。

③ 組合HPについて

組合員検索を充実させることについてオブザーバーの伊東社長に提案をお願いしていたが、まずHPの現状を把握するためにPV（ページビュー）のデータをいただき、分析することになった。

嶋崎議長から、セミナーの講師の派遣及びサンプル動画の作成についての予算について質問があり、安室専務理事から費用が発生しないことの説明があった。

続いて安室専務理事から１１月２９日開催の第７回価格交渉サポートセミナーについて資料に基づき説明があった。昨年同様に正副委員長が進行等を担当し、来賓に関東経済産業局の製造産業課麻生課長と適正取引推進課金野係長をお招きし、６つのテーマ（①エネルギー費、②人件費、③輸送費、④取引条件、⑤副資材・付帯工程、⑥その他）について６グループ３２名で２時間のグループ討議を行い、発表を行うことになっている。終了後に有志参加による会費制の懇親会を行い、親睦を図ることになっていると説明があった。

続いて安室専務理事から技術・品質合同委員会で検討している令和７年度「初級熱処理塾」については、４月に１０日間の開催ではなく、１０月に週二日（木、金）で５週の開催を検討していることと新たに４月に新入社員向けの研修会の開催について検討することになっていることの説明があった。

次に１２月６日（金）に予定している工場見学会について説明があった。見学先は、㈱SUBARU航空宇宙カンパニー宇都宮製作所、参加人数は２３名、見学箇所は、ボーイング社航空機部品の接着工場、ヘリコプターの整備工場等の予定、懇親会については、㈱SUBARUの厚生施設での開催予定であることの説明があった。

藤田理事（技術委員会委員長）から、令和７年度「初級熱処理塾」については、４月開催ではなく、週二日（木、金）の５週の開催で了承をいただいているが、開催時期については１０月を本選として１２月６日の合同委員会で時期を決定したいと考えていることの説明があった。

嶋崎議長から、初級熱処理塾については、合同委員会で検討後、スポット受講も含めて理事会承認を得るように進めて欲しいと述べられた。

嶋崎議長は、委員会活動について議場に諮ったところ、全員一致で承認された。

第８号議案　報告事項その他について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、資料に基づき、令和６年８～１１月の組合員及び賛助会員の異動と外国人技能実習制度の評価試験の日程について報告があった。東部の予定については、１２月の試験が変更になり、令和７年１月が１回目になる可能性があることの説明があった。

続いて第５４回通常総会の日程及び会場について検討していることの報告があった。

以上をもって、議案全部の審議を終了した。曽根副理事長より閉会を告げ散会した。

令和６年１１月２６日

東部金属熱処理工業組合理事会

議長理事　嶋崎 利行　㊞

出席理事　曽根 光彰　㊞

〃　南　直樹　㊞

〃　玉木 寛之　㊞

〃　安室 篤志　㊞

〃　田村 大輔　㊞

〃　二瓶　啓　㊞

〃　上島　健　㊞

〃　川崎 一郎　㊞

〃　秋山 正稔　㊞

〃　山田　毅　㊞

〃　横山 聡洋　㊞

〃　秦　研二　㊞

〃　藤田 亮則　㊞

〃　川村 道夫　㊞

〃　後藤 章洋　㊞

出席監事　熊木　宏　㊞

〃　山口 直延　㊞